30th Anniversary

NIPPON GOOD PARTS NGP

News

全面リニューアル第1号！

全国整備工場の皆様へ
NGP組合員200拠点がお届けする
お役立ち情報

2016 No.308 11月号

2016年11月19日発行
■発行責任者／佐藤幸雄 ■編集・制作／(株)プロトリオス
■発行／(株)NGP 東京都港区高輪3丁目25番33号 長田ビル2F TEL03(5475)1200

定価／1部30円

第12回通常総会開催

佐藤幸雄理事長
体制2年目のテーマは「創」
～挑戦と継承で新たな時代を～

創立30周年記念祝賀会で一堂に会したNGP組合員の代表者

佐藤幸雄理事長

NGP日本自動車リサイクル事業協同組合（以下、NGP協同組合）は10月24日、ヒルトン福岡シーホーク（福岡県福岡市）で第12回通常総会を開催しました。鉄スクラップ相場の暴落のみならず、先進予防安全技術の普及による事故件数減少とそれに伴う使用済み車両相場高騰も加わるなど、事業環境の急変によってますます厳しさを増す中、NGPグループ30年の伝統を継承しつつ、総力を結集して新たな発想を生み出し新しい時代を勝ち残る決意を固めました。

「お客様第一！」、「よりよい商品を！　より正確に！　より早く！」、「補修部品業界のリーダーたること！」

発祥の地である九州でグループ創立30周年を迎えたNGP協同組合の第12回通常総会は、その創生期より脈々と受け継がれているNGP三大信条の出席者全員による唱和から始まりました。

冒頭の挨拶で佐藤幸雄理事長は、「私が理事長を仰せつかってから1年が経過しましたが、昨年の所信表明の際、次世代自動車が普及する時代にリサイクル業がどのように向き合うのか、またNGPがどのように変化していくのか、極めて重要な時期であると話しました。急速に変化していく自動車業界において、我々自動車リサイクル業界は、非常に厳しい事業環境を迎えると想定し、国内部品の生産・販売だけではなく、自動車リサイクル事業全体に対して参画することを考え、中期ビジョンとして海外戦略、素材回収スキームの構築を重要方針として挙げました」と、昨年度1年間の取り組みを振り返りました。

また、加減速と操舵を自動で制御し自動車専用道路における単一車線での自動運転を可能にする「プロパイロット」が、高級車ではなく普及価格帯のミニバンである新型日産セレナに設定されたことに触れ、「いよいよ来たな、というのが私の率直な感想です。今後ますます事故が減少し、リサイクル部品の利用機会だけではなく使用済み車両の確保も厳しくなって参ります。このような時代だからこそ、個社だけではなくNGPグループの結束の下、スケールメリットを活かした活動が重要と考えています」と、次世代自動車の普及期が到来したことを認識し、NGPグループ全体でその変化へ的確に対応することの必要性を示唆しています。

「NGPグループは30周年を迎えることができました。私は1990年12月に入会させていただき、NGPのおかげで本当に成長させていただき、感謝しております。ここに、同じように感じている仲間も大勢いると思います。我々は創立者である大石一彦名誉顧問の強い信念のもと、様々な困難を乗り越え、今日があります。NGPグループの伝統を作り上げた諸先輩方に感謝を申し上げつつ、この厳しい時代を勝ち抜いていくためには、新しい発想のもと、新しいものを生み出し、挑戦していかなければなりません。NGPグループの強い絆で、組合員の皆様とともに新しい時代を切り拓いて参りたいと思います」と、NGPグループの伝統を継承しつつ新たな取り組みへ積極的に挑戦していくという強い意志を示しました。

このような事業環境と佐藤理事長の意向を踏まえ、NGP協同組合は2016年度のスローガンを“「創」～挑戦と継承で新たな時代を～”としました。また、昨年度に主要課題として掲げた「リサイクル部品市場の拡大」、「海外販路の拡大」、「素材回収スキームの確立」、「次世代人材の育成」は今年度も継続しつつ、事故件数減少等による使用済み車両の減少傾向を踏まえ「車輌仕入れの強化」を新たに事業方針として加えています。

NGP協同組合ではこのテーマをもとに、時代に即した組織を構築し、自動車リサイクル部品業界をけん引し続けることで、自動車整備・修理工場の皆様へよりよい商品をより正確により早くご提供して参ります。今後ともご支援ご指導を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

NGP協同組合執行部記者会見

執行部メンバーが第11期の成果と第12期事業計画の狙いを説明

記者会見に臨む正副理事長会メンバー

第12回通常総会終了後、佐藤幸雄理事長、長谷川利彦会長、山田彰副理事長、中村昌徳副理事長、小林信夫副理事長、玉木基裕専務理事からなる正副理事長会メンバーが、恒例の記者会見に臨みました。

会見の冒頭、「車輌仕入れの強化」を新たな課題として追加した2016年度事業方針について、2015年度の使用済み車両引取件数が公益財団法人自動車リサイクル促進センター調べで対前年度比93%の315万6,500台に留まるなど、減少傾向が続いていることが背景にある旨、玉木専務理事より説明されました。

佐藤理事長はさらに、「昨年度からの取り組みは、微増ながら確実に成果が出ています。海外向け共同コンテナは、当初予想より多い18本が出荷されました。素材回収スキームも中長期的に必要なもので、東日本自動車解体処理協同組合との提携を通じ、部品を精緻に分解する知識・技術を高め、付加価値を与えられるよう取り組まねば、収益に直結しないと考えています」と、各取り組みを継続していくことの重要性を記者団に訴えています。

なお、2015年度の実績は、リサイクル部品生産点数が対前年度比97.1%の202万点、リサイクル部品生産金額は同95.7%の155億円、リサイクル部品販売点数は同98.0%の235万点でした。リサイクル部品販売金額は、国内単独では横ばいに留まったものの、2015年度より海外での販売実績を含めたことにより、同108.2%の543億円となっています。

NGPグループが創立30周年を迎えたことを踏まえ、これからの30年に向けた取り組みについて記者団に問われたところ、佐藤理事長は「自動車リサイクル業界は閉鎖的と言われがちですが、情報を積極的に開示し各業界団体と共有することで、負担軽減を図りたいと思います」と、よりオープンかつ他業種とのつながりが深い、業界のあるべき姿を示しました。

長谷川会長はさらに、「廃車王などで使用済み車両をどう仕入れ確保していくかが、まずは大事な問題になります。そして、自動車リサイクル法の歪みが近年非常に強く顕在化しており、そのために各自動車リサイクル業者が大変な思いをしています。これは法的な面を含めクリアしていかなければならない、重要な課題と捉えています」と、自動車リサイクル料金の支払い義務は使用済み車両の最終所有者が負うという、自動車リサイクル法の構造的問題に言及し、その解決を目指す意向を明らかにしています。

NGP協同組合、「エコプロ2016」に出展

エコプロ2016 環境とエネルギーの未来展

NGPリサイクル部品とともにエコひろば、廃車王、パーツ王を積極的にアピールします

NGP ブース外観イメージ

NGP協同組合は12月8～10日までの3日間、東京ビッグサイト（東京都江東区）で開催される、“環境”をテーマにした日本最大級の展示会「エコプロ2016 環境とエネルギーの未来展」に出展します。今回のNGPブースは東6ホール入口のすぐ近く、小間番号は6-022です。

今回は、NGPリサイクル部品を積極的に取り扱う整備・修理工場をカーオーナーに紹介する「NGPエコひろば」、使用済み車両買い取りサイト「廃車王」に加え、一般カーオーナーがNGPリサイクル部品を直接購入できる「NGPパーツ王」をブースの壁面に大きく描き、カーオーナーや子供たちへ積極的にアピールします。

また、昨年大きな反響を得た、使用済み車両の実車とそのリサイクル部品も展示します。ぜひNGPブースへお立ち寄り下さい。

NGP 今月のCO_2削減量

リユース部品利用に伴うCO_2削減量

※1自動車リサイクル部品産学共同研究会が、「自動車リサイクル部品による環境負荷低減効果の研究」の結果をもとに、NGPが販売したリユース部品の50部品（左右ある部品を含むと64部品）を対象に算出した数値です。

平成28年9月：**2,970t**

リターナブル梱包材利用に伴うCO_2削減量

※2リターナブル梱包材の利用に伴う削減効果はNGP協同組合独自のCO_2排出量削減の取り組みです。段ボールに代えて、専用梱包材を繰り返し使用することを前提に削減効果を算出しております。

平成28年9月：**10.3t**

NGP組合員かわら版

第28回基礎研修会を開催
“合わせる”ことの大切さを新たなNGP組合員社員が体得

NGP協同組合の第28回基礎研修会が、10月10～13日の4日間、しあわせの村（兵庫県神戸市）で開催され、NGP組合員各社の新入社員を含む総勢56名が受講しました。

受講生は開会式が始まる前、受付の時点より服装や言葉遣い、挨拶の仕方など、社会人として必要不可欠な礼儀作法を講師より厳しく指導されます。

受講生はまず全体挨拶訓練を受け、その後5つの班に分かれ、行進・ラジオ体操・挨拶からなる団体訓練を受けます。ここでは号令などのあらゆるかけ声を、しあわせの村の広大なグラウンド全体に響くよう腹の底から出し、かつ移動速度やタイミング、整列位置を各班の全員が完璧に“合わせる”ことで、NGP全組合員が品質を“合わせる”こととその重要性を体得します。

さらに夜からの暗記試験では、NGP三大信条やお客様第一10ヶ条など、与えられた課題を一字一句間違えずに暗記することを求められます。それが達成されるまでは、いつまでも終わることなく続けられるのです。

修了式では各班代表の受講生が佐藤幸雄理事長の前で決意表明

会社も年齢も立場も全く異なり、それまで顔を合わせることもなかった受講生同士が初めて行動を共にすることもあり、初日はお互いに意識と行動を“合わせる”ことができませんでした。しかし、自らの限界を超え、この試練を乗り越える覚悟を決めてからは行動を“合わせる”ことができるようになり、これまでの基礎研修会で最も早く全員合格となりました。

修了式では(株)茨城オートパーツセンターの松井佳英さんが「団体行動で学んだリーダーシップを活かし、先を読んだ指揮、指示出しを行います」と、帰社後の業務に向け決意表明しました。

研修終了後の感想として、(株)エコブリッジの中里太明さんは「相当大変で苦労すると受講前に聞いていましたが、実際には想像以上で、初日から不安を覚えましたが、日を経るごとになくなっていきました。これは班の仲間、受講生全員が協力し助け合ったからです。この固い絆がNGPの30年という歴史を作ってきたのだと思います」と、心を“合わせる”ことがNGPの発展につながることを感じ取っています。

NGP協同組合、「中小企業団体全国大会」で優良組合表彰を受賞
自動車リサイクル部品市場拡大と地球環境保護への取り組みを評価

10月19日、いしかわ総合スポーツセンター（石川県金沢市）で開催された「第68回中小企業団体全国大会」（主催：全国中小企業団体中央会、石川県中小企業団体中央会）において、NGP協同組合が、優良組合として表彰されました。

同大会は年に1回、全国の中小企業団体の代表者が集まり、その決意を内外に表明するとともに、国などに対し中小企業振興施策の確立を訴え、組合組織を基盤にした中小企業の安定的な振興発展を図るために開催されているものです。

NGP協同組合は、創立者である大石一彦名誉顧問が提唱するNGP三大信条のもと、自動車リサイクル部品業界のリーダーとなるべく、いち早く部品共有在庫システムや品質保証制度、リターナブル梱包材などを導入し、自動車リサイクル部品市場を拡大しながら地球環境の保護に貢献してきました。永年にわたるこれら取り組みが高く評価され、このほど受賞に至りました。

今回は36団体が優良組合として表彰されましたが、その中で全国組織はNGP協同組合が唯一となります。大会当日は山田彰副理事長が出席し、表彰状を授与されています。

表彰状

NGP日本自動車リサイクル部品協同組合 殿

貴組合は組合員の強固な団結のもとに適切な組合の運営に努力され、その業績は他の模範であります

よって第六十八回中小企業団体全国大会において表彰します

平成二十八年十月十九日

全国中小企業団体中央会

会長 大村功作

大会当日に授与された表彰状

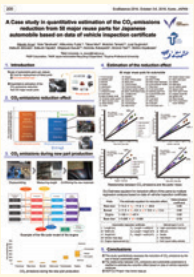
NGP組合員かわら版

産学共同研究の成果を「エコバランス2016」でポスター展示
CO_2削減効果とその値の算出根拠を分かりやすくアピール

10月3～6日に京都テルサ（京都府京都市）で開催された、LCA（ライフサイクルアセスメント）を用いた環境問題の影響評価に関する国際会議「エコバランス2016」で、明治大学理工学部機械情報工学科の井上全人准教授は、富山県立大学工学部機械システム工学科の森孝男教授、NGP協同組合との産学共同で進めている「自動車リサイクル部品による環境負荷低減効果の研究」に関する成果のポスター発表を行いました。今回発表したのは、今年4月5日に「NGPエコプロジェクト」（http://www.nepp.jp/）で一般公開を開始した、リサイクル部品使用によるCO_2削減効果値の理論的根拠とCO_2削減効果値を算出するための推定式についてです。

展示したポスターの前には産学官問わず国内外から数多くの研究者が訪れ、「欧州ではあるカーメーカーが部品材料の構成データを提供してくれるため、容易にCO_2削減効果値を算出できますが、これほどのメーカー・車種を詳細に研究し、かつ有用性の高い形で公開しているものは見たことがありません」などと高い評価を得られました。一方、「クリーンディーゼルやハイブリッド、PHV、EV、FCVなど、パワートレインの種類ごとに調査すれば、より一層精度が高くなるでしょう」とのご指摘もいただいております。

大勢の研究者から注目を集めながら研究成果を説明する明治大学の井上全人准教授（右奥）と富山県立大学の森孝男教授（左手前）



エコバランス 2016 会場に展示されたポスター

第29回経営者研修会を開催
NGP組合員経営者に求められる知識と姿勢を学ぶ

事業計画の発表は１社ずつ、講師及び他の受講生全員の前で行われ、その内容には鋭い質問や意見が数多く投げかけられる

第29回経営者研修会が10月2～5日の4日間、しあわせの村（兵庫県神戸市）で開催されました。全国の組合員から経営者・幹部10名が参加し、NGPの歴史や各委員会の取り組み、NGP三大信条の意義、NGPグループの一員として果たすべき役割を学びました。

また経営者として理解すべき、企業会計やコンプライアンス、顧客である自動車整備業界の近況を踏まえたリサイクル部品業界が乗り越えるべき喫緊の課題について学習したうえで、事業計画書を作成しました。そして、基礎研修会と同様に、整列・ラジオ体操・挨拶からなる集団行動の訓練・試験を受けています。

修了式において、リパーツ(株)坂井自動車の清水陽さんは「NGPブランドを汚さないために社員を教育し品質向上を図り、クレーム発生率を1.1％から0.7％へ低下させます」と決意表明しました。

研修終了後の感想として、カースチール(株)の渡辺暢之さんは「NGPは様々な会社の協同組合で、それぞれ環境も立場も違いますが、心は同じでなければただの会員制グループと同じになってしまいます。変わることが何より大事、常に前向きな仕事への姿勢がモチベーションを上げることなどを学べました」と、経営者が持つべき知識と姿勢の双方を体得できたことへの喜びを話しています。

組合員情報変更

支部	会社名	変更内容	変更後	変更日
南関東	株式会社ユーアンドアイ	会社代表	代表取締役　中村宏己	28年9月30日
東海	株式会社吉田商会	会社代表	代表取締役　吉田恭平	28年10月1日
九州	株式会社グッパー福岡	移転	〒838-0803　福岡県朝倉郡筑前町当所402-1 TEL 0946-23-8093　FAX 0946-23-8094	28年10月2日

訃報

10月20日、(有)ポプラ（茨城県那珂市）代表取締役、吉澤慎一様の御尊父・吉澤昭一（よしざわしょういち）様がご逝去されました。享年69歳。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

10月23日、吉村エコパーツ（大阪府羽曳野市）代表、吉村妙義様の御尊父・吉村邦敏（よしむらくにとし）様がご逝去されました。享年73歳。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

NGP日本自動車リサイクル事業協同組合事務局
〒108-0074　東京都港区高輪3丁目25番33号　長田ビル2F
TEL:03-5475-1208　FAX:03-5475-1209
http://www.ngp.gr.jp/

株式会社NGP
〒108-0074　東京都港区高輪3丁目25番33号　長田ビル2F
TEL:03-5475-1200　FAX:03-5475-1201
http://www.ngp.co.jp/